

令和6年1月定例教育委員会議事録

1. 日 時：令和6年1月30日（火）13時30分～15時30分

2. 場 所：離島開発総合センター 中央会議室

出席委員：委員 中村好秀 委員 升水裕司
委員 浦いせ子 委員 横山明美
教育長 中村慶幸
事務局 教育次長 牧尾 豊
教育生涯学習班長 大田 議 嗣（欠席）
図書館係長 津田 朋 子（欠席）
文化財係長 平田 賢 明（欠席）
教育総務係長 神崎 健 司

3. 附議案件

(1) 前回議事録承認の件

(2) 教育長報告

(3) 協議事項

1) 教科用図書採択地区の変更に係る希望調査について

(4) 報告事項（12/18～1/19分まで）

1) 各種委員会、協議会等について

報告第33号 第5回部活動地域移行検討会について（12/18）

報告第34号 学校評価結果の報告について

2) その他

① 事務局運営会議について（12/18、1/12）

② 成人式～二十歳の集い～について（1/3）

③ 地域史研究講座について（1/11）

④ 小中高一貫教育地区推進部会代表者会について（1/17）

⑤ 小学校3年生社会科見学について（1/18）

⑥ 中学校1年生進路学習について（1/19）

(5) その他

① その他

② 2月行事予定について

次回定例教育委員会の日程 2月26日（月）13時30分～

事務局 (教育次長)	それでは、定刻となりましたので、ただ今から、定例教育委員会の会議をはじめさせていただきます。それでは進行の方を、教育長の方、よろしくをお願いします。
教育長	<p>はい。みなさん、ご出席ありがとうございます。</p> <p>年が明けまして、それぞれお会いしてるかと思えますけれども、委員皆様におかれましては、今年もどうぞよろしくをお願いします。</p> <p>前に言ったと思えますけど、今年辰年ですよね。私、年男なんですけども、1月1日からですね、能登半島地震、それから翌日の2日は日航機と海上保安庁機との衝突事故、それから、3日には、北九州市の飲食店街付近で、大規模な建物火災ということですね、正月から大変不穏なといえますか、残念なニュースばかり目立っておりますけれども、亡くなられた方のご冥福と被災された方へのお見舞い、それから早期の復旧・復興をご祈念したいと思います。</p> <p>能登半島地震の被災、避難状況等につきましてはですね、連日報道されておりました、教育長報告にも載せさせていただいておりますけど、国、県においてですね、各種の支援措置が講じられております。中にはですね、市町への協力要請がっております。こういった施策がですね、効果を発揮することを期待しております。実は4日にもですね、ひとつありまして、朝6時頃だったんですけど、本町の主要公共施設の爆破予告がありまして、臨時の課長会を開きましてですね、情報共有と対応を協議しました。警察、それから県の危機管理担当課と情報共有しまして、予告時間前にですね、各担当所管の施設の点検、見回りを行っております。その結果、何事もなく、よかったと思っております。</p> <p>教育委員会所管事業ではですね、3日に成人式、二十歳の集いを実施しました。今回、初めての試みをですね、2つ行いました。</p> <p>ひとつは、式典に家族席を設けたということです。これは、首長部局から、副町長からの提案だったんですけども、新成人の方ですね、晴れの姿を家族にもお祝いしてもらおうということで、急遽実施させていただきました。教育委員会サイドとしては、事務局サイドとしましては、成人になっている中でですね、いわゆる保護者が見守るといのはどうなのかという意見もございましたけれども、結果的には家族の皆さんに喜んでいただいております。</p> <p>もうひとつは、前回申し上げましたけれども、式典終了後に新成人と北松西高生との意見交換会をですね、ワークショップ形式で行っております。テーマは「社会人として後輩に伝えたいこと」というふうに設定させていただきました。新成人の方には、社会人、4大生、短大生、色々おられましたけれども、それぞれの立場から勉強、生活、そして他者との関係構築などですね、アドバイスがございました。初めてで、手探りでしたけれども、高校生も3名参加してくれましたけれども、高校生も戸惑っていた感もありましたけれども、有意義な機会であったとは思っております。そういう中で、新成人の話を聞いていてですね、私として嬉しかったのは、高校での地域探求活動を通じて小値賀のことが大好きになったということをおられた新成人の方がおられました。</p> <p>その言葉が嬉しくてですね、今後の励みになりました。より多くの高校生に参加してもらう工夫が今後必要になりますけれども、来年も同様に実施したいと思っております。そして、あわせてアンケートをさせていただいた中で、今後の成人式の実施年齢について、お伺いしましたけれども、出席した新成人、そして高校生の全員が、現行どおりの二十歳が良いと回答しております。</p>

理由については、いくつかありました。高校生は、受験を控えていて、やはり忙しい、余裕がないという時期であること。それから、新成人の方にとっては、大人になって久しぶりにみんなが集う場所、久しぶりに会える機会というのが、主な理由として挙がっておりました。ですので、私としてはですね、来年度も現行どおり二十歳の集いという形でですね、実施してはどうかと思っております。

1月10日に教職員の人事異動の最終ヒアリングに行っていました。その際に前川新教育長とも面会させていただきまして、高校教育課にも訪問しまして、前回、申し上げましたが、地域未来留学関係のですね、情報共有をして参りました。結果的には、問題ないということで、実は県も参画していたそうです。地域未来教育プラットフォームにですね。

ですが、今は退会しているということで、理由としては、費用対効果の面でのことでした。奥尻とか隠岐の島前高校とか、そういったネームバリューの高い地域にですね、情報が埋もれてしまうということで退会しているということなんですけど、小値賀は離島留学というよりもUIターン施策で全国的にも名前が売れているというところで、地域として参画すれば、県全体よりも費用対効果は上がる見込みはあるんじゃないかということをおっしゃっていただきましたけれども、そういうふうになるようにしていかなければいけないと思っています。

で、帰って来てからですね、北松西高の校長と教頭には情報共有をしております。で、予算の要求についてもですね、予定どおり行ったところです。

1月17日には、大谷翔平選手の寄付のですね、グローブが本町に届きまして、町長に確認してもらって、本校にはその日のうちに、分校には翌日18日に、グローブを届けております。それから19日にですね、コミュニティースクールとしての、キャリア教育の一環ということで、私が提案していたことでもありますけれども、中学校1年生の職業調べの中で、地域で活躍されている方々、10名の方に講師として来校いただきまして、インタビュー形式でですね、中学校1年生の授業の中で、これ国語の授業の中でだったんですけども実施できております。キャリア教育の一環ですけれども、地域の方々が実際に活躍されている職業に関しての話をしていただく中で、今後、ふるさと教育にもつながることだと思っていますので、事務局にお願いですけど、学校と調整して是非継続、それから拡充していただきたいと思っております。

町内駅伝が1月28日に行われましたけれども、去年を上回る7チーム、去年6チームだったんですけど、7チーム参加がありまして、エントリーは8チームでしたけれども、インフルエンザの影響もありまして7チームになりましたけれども、元気に走ってもらって無事終えております。

来年さらに参加チームが増えれば良いなと思う一方で、防災無線でもお知らせしておりますけれども、小中高の合同持久走大会が、1月24日予定を29日に天候の都合で変更しているんですけども、インフルエンザの流行によりまして、小学校の時間走のみとなりました。

これは情報共有してなくて申し訳なかったんですけども、インフルエンザで1月26日に中学校3年生が学年閉鎖いたしまして、それからさらに罹患者が増えていった中でですね、昨日と今日が臨時休業、中学校自体が臨時休業となっております。学校からの資料によりますと、全校生徒41名中15名が罹患しているということで、罹患率が36.6%と、中でも中学3年生が15名中9名が罹患していて、加えて発熱者も1人出てきております。

これ、今日来たばかりなんですけど、小学校におきまして4年生、本校の学年閉鎖の具申がまいっております。期間が明日から2月2日までですので、3日間という状況です。コロナもですけど、インフルエンザも、子ども達を中心にかなり広がってきておりますので、基本的な、できることといえば基本的な感染予防対策になるんですけども、その徹底をして参りたいと思います。

お知らせなんですけれども、2月5日と6日、大石県知事が来町されます。

もともと、夏か秋、春やったですかね、春か夏かに、来町が予定されていたんですけども、天候の問題でですね、延期になっておりました。

教育委員会の所管としては、ちかまる寮、それから野崎島の世界遺産関連の視察が行われるようになっておりますので、滞りなく視察頂けるように対応したいと思います。議会関係ですけれども、第5次総合計画に関しまして、執行部案が出来上がりますして、先日、最終の審議会が行われておりますけれども、2月19日に議会に諮るようになっております。それに先駆けて、先日、全員協議会で、総務課が説明しております、各分野に関して、いくつか意見もあっているようでして、そのフィードバックは、各所管になされるということなんですけれども、教育委員会には来ているんでしょうかね、既に。

まだこれからですかね、これからですね。これからなされるようになると思いますので、2月19日の審議に向けてですね、準備をしたいと思います。

新年度予算ですけど、教育総務係の担当分につきまして、1月25日に査定が終了しておりますけれども、文化財係が今日のこの教育委員会が終わった後、それから社会教育係が、これは図書館も含みますけれども、2月2日に行われるようになっております。教育総務係に関して、特にその、要求した中でですね、多少なり修正はありますけど、事業不可など、査定段階ではあっておりません。

ただ、その、例年のことではありますけれども、財源の問題もありますので、最終的に全体の査定が終わった中で、なんらかの調整がされる可能性はあるのかなと思っております。

非公表

事務局
(教育次長)

はい。ありがとうございます。

それでは、次の議事の方によろしく申し上げます。

3 附議案件

(1) 前回議事録承認の件

教育長

附議案件ですけれども、まず1点目、前回議事録承認の件ですけれども、何かございましたでしょうか。

升水委員

ありません。

教育長

大丈夫ですかね。はい、ありがとうございます。

(2) 教育長報告

教 育 長	続きますして、教育長報告ですけど、この中で、何かございましたでしょうか。
中 村 委 員	はい。質問です。
教 育 長	お願いします。
中 村 委 員	最初の来町者のところで、中村光洋氏が来られて、学校教育における水産業体験についてなんですけど、ご説明いただいていたいいですか。
教 育 長	<p>はい。これは、第5次総合計画のですね、地区説明に回ったのは報告しているとは思いますが、斑に12月21日に参りました。</p> <p>その翌日の朝にですね、昨日は言えなかったんですけどということで来られて、中村さんは指導漁業士で、これは県の認定制度ですが、指導的立場、キャリア、経験が豊富な方を県が指導漁業士として認定するんですけど、自分も来年70になるので、一応定年があるんですよ。農業士もそうですけども。</p> <p>で、残りわずかな中で、学校教育、魚捌きなどに携わってきたけど、子ども達を学校ではなくて現場で学ばせることができないかということで、一次産業に目を向けてもらいたいということで、中村さんが言われたのは、漁協の荷捌所で、イサキの箱詰めをしますけど、その体験をさせることができないか、という提案でした。私からは、学校のカリキュラムが11月にはほぼ固まってしまうので、来年度というのは、なかなか難しいと思いますよ。</p> <p>で、早朝になるので、これもまた時間外になりますので、学校教育というよりも産業振興課と連携して社会教育事業の一環として対応するとか、そういった、可能性としてはそういうふうになりますということで、一応。そこまではお話しさせてもらって、その後、協議事項か何かに入れていたと思うんですけど、協議事項等の(3)ですね、指導漁業士からの提案に関する情報共有、協議ということで、産業振興課の課長、班長、それから水産係長を交えて、教育委員会事務局と情報共有と協議を行った次第です。すみません、長くなって。</p> <p>で、その中で、産業振興課サイドからは、どうせなら、漁業だけではなくて、農業に関しても、そういうことを考えた方が良いよねということで、先般からお話ししていた、スキューバダイビング体験に関するアンケートを取るようになっていますけど、スキューバは資格は小学校4年生、10歳からライセンスが取得できるようになっていますので、せっかくだったら、高校生だけじゃなくて、小学4年生以上にアンケートを取ろうかということで、その中に、漁業体験とか農業体験とか興味、関心があるかとか、そういったところを入れ込んでおります。今、アンケート案まで、学校にもチェックしていただいて、アンケート案まで、できている状況です。すみません。長くなりましたけど、そういう状況です。</p>
中 村 委 員	はい。
教 育 長	ほか、ございますでしょうか。
浦 委 員	協議のところ、(4)と(5)について、もうちょっと詳しくお話を聞けたらと思っています。園児の外遊び、これ、外遊びに特化しているなどと思うし、幼

	<p>小連携は、以前からずっと私達の中でも話が出てきているので。</p> <p>はい。これはあの、(4)のこども園の園長と福祉事務所の所長との協議、協議というよりも、私の考えを伝えに行って、情報共有というか、想いを共有していただくために、こども園に行ったんですけど、今、こども園が若者交流センターを使っています。この間、体験保育、公開です、ごめんなさい、公開保育、それを見させていただきましたが、前々から色んなところでお話ししていますが、やっぱり子どもは外でいっぱい遊んでもらいたいなど。</p> <p>で、私が時々YouTubeで見る教育に関しての研修とか講演とか、先生の話聞いてみると、子どもって、子どもだけじゃないでしょうけど、脳と体の動きというのは当然連動していて、体を使う中で脳の発達も促進されるっていうのを聞いたり、以前の子供達の姿とか、自分も含めてですね、昔と今、環境の違いとかを見たときにですね、できるだけ、そういう機会を作っていただきたいと。</p> <p>例えば、こども園の改修が終わって、元の子ども園に戻ったとしても、例えば、定期的に週1回とか、若者交流センターを拠点に、外遊びの活動をですね、促進させる、例えば総合運動公園であれば、グラウンドもありますし、体育館もありますし、イノシシやマムシ、スズメバチなど、時期的に注意しなければいけないですけど、裏には山もいっぱいありますし、傍には放牧場もありますし、舟瀬の海岸もありますし。ここを使ってくれたらいいなあと思って提案させていただいたというのがひとつと、議員さんの中から、こども園に関して、地域によっては、京都にあるそうなんですけど、園舎のないこども園ということで、山の中がこども園になっているとかですね、近くでいうと、諫早の子どもの城、そういうところも一緒に見に行きませんか、誘いを受けたりしているんですけど、少なくとも、こども園に関しては、教育委員会の所管ではありませんので、そういった話があることとか、先ほど言ったようなこととかをですね、情報共有をさせていただきました。それから、(5)のこども園園長と小学校校長への依頼というのは、17日に小中高一貫教育の代表者会がありまして、それが終わった後にですね、ちょっと残ってもらって、先ほど浦委員さんからもあったように、総合計画にも長いこと幼小連携って書いてるけど、なかなか目に見えて連携が図られているというのがないと思うので、年長児の学校見学とかですね、入学前の体験は一応やってるということなんですけど、本当にそれで幼小連携として足りているのかということですね、今一度考えてもらえませんかという話をさせてもらいました。で、その際に、校長先生や園長先生が考えるのではなくて、トップダウンではなくて、ボトムアップで、現場の先生方が、こういうことを子ども達、園児達に経験させたいとか、そういう意見を吸い上げる形で、幼小連携を進めていってほしいという話をしました。以上です。</p> <p>ほかにございますでしょうか。ないですかね。</p>
教育委員	はい。
教育長	はい、ありがとうございます。
横山委員	すみません。小値賀町内の各業者とかとの、中学1年生の進路学習というんですか、どういう業種の方々との対談っていうか、そういうお話しがあったんで

<p>教 育 長</p>	<p>しょうか。</p> <p>先ほど10人と言いましたけど、幅広い産業分野、それから公共事業分野の方々に集まっていただきました。行政関係で言いますと、文化財の平田係長、図書館の津田係長、診療所の看護師さん、そして獣医さん、社会福祉協議会の方、それから飲食店業の方、農業の方、建設業の方、あと2人出てきません。すみません。あっ、保育士の方、そして薬剤師です。以上です。</p> <p>50分間の授業と限られているので、12人やったですよ。時化で大島から1人来れんで、確か12人ぐらいやったと思うんですけど、その子はリモートでつなぎました。で、問題なくできております。</p> <p>自分が興味のある分野のトップ3を自分で選んで、3人のところに自分で行って質問して、アドバイスを受けてっていう、そういうやり取りをしました。</p> <p>10業種全部を回ったのではなくて、1人につき3業種という形で実施しました。で、出席された方の中にはですね、やっぱり学校で、こういうやり取りだけじゃなくて、実際の仕事場に来てもらって、そこで見て触れてという体験をしたらいいんじゃないかという、ありがたい意見ももらいました。</p> <p>そういったことを繰り返して行ってですね、小値賀町で将来的にですね、仕事をするという、そういうイメージを持ってもらえれば嬉しいなと思っております。</p>
<p>升水委員</p>	<p>業種によって、子どもの偏りはなかったですか。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>意外とですね、申し訳ないなというほどはなかったですね。</p> <p>薬剤師なんかは多かったです。薬剤師、看護師あたりが多かったように思います。</p>
<p>浦 委 員</p>	<p>教育長の報告の中にそれは載ってますよね。小値賀の中で話を聞けそうな専門職を教育委員会事務局でピックアップし、中学1年生にアンケートを取って、希望の職種が多かった方々に相談、と書いてありますので、子ども達がこういう仕事を聞きたいなという希望を出したところが、私はよかったなと思います。</p> <p>こっちがこうじゃなくてですね。やっぱり子ども達の意見を聞いてから、ここに書いてますね。だから、多目的室で場所を変えてされてたと思うんですね。</p> <p>1人話を聞いているところもあるし、2人座って話を聞いているところもあるし。これですよ。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>はい、そうです。ありがとうございます。</p> <p>ほかございますでしょうか。大丈夫ですかね。</p>
<p>教育委員</p>	<p>はい。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>はい。じゃあ、次に進ませていただきます。</p>

(3) 協議事項

1) 教科用図書採択地区の変更に係る希望調査について

非公表

(4) 報告事項 (12/18~1/19分まで)

1) 各種委員会、協議会等について

報告第33号 第5回部活動地域移行検討会について (12/18)

教育長 続きまして、報告事項ですけれども、報告事項33号ですかね、令和5年度第5回部活動地域移行検討会について、通算で、6回目になりますけれども、この中で何かございますでしょうか。この報告内容で大丈夫ですかね。よろしいでしょうか。

升水委員 ひとつよかですか。すみません。えっと、指導員募集で、なかなか指導員の確保が難しいという中で、来年の4月からもうスタートせんばいかんという、切羽詰まっているような状況が、この報告書の中で読み取れるとですけれども、現在の指導員の募集の状況の中ではですね、バドミントンが1名、陸上2名決まっているということで書かれていたんですけども、あと不足するのがバドミントン3名って載っとるごたったもんですから、そこら辺の事情は何でしょうかね。4名いるということですか。

中村委員 男女。男2、女2ということですよ。

教育長 はい。一応、その、今、升水委員さんからあったようにですね、不足している状況ですので、ちょとまあ、要件というか表現を緩和してですね、追加でというか、引き続き募集をしておりますけれども、その状況は、事務局どがんですか。

事務局 (教育次長) はい。事務局です。12月の会議の時には、升水委員さんおっしゃったとおり、指導員に募集していただいている方、バドミントン1名、陸上2名の3名でありました。その後募集を継続的に引き続き行っております。

その中で、今年になりまして、バドミントンに新たに1名、指導員になってくれるという方がありましたので、今、指導員になっている方は4名になります。

で、一方、吹奏楽部につきまして、うちのと言うか、町のというか、ちかはなさんがいらっしゃるんですけど、そちらの方にもアプローチをしているんですけど、指導員としては難しい面があるということで、ちょっとというお話をいただいている、サポーターとしては協力はできるというお話をいただいております。で、今回の2回目の募集が、明日1月31日が締め切りになっていますので、その締め切り後に改めてまた、ちかはなさんとは話をする予定にしておりますけれども、そういったことで、現状としては4名の指導員の確保と、サポーターとして、ちかはなさんに協力をいただくことで、話を進めているという段階になっています。以上です。

教育長 私から質問いいですか。追加でバドミントンの方が見つかったっていうのは、男子ですか。女子ですか。

事務局 (教育次長)	今も来ていただいている浜津地区の方なんですけども、男、女というわけではなくて、バドミントン指導に協力していただけるということで伺っています。
教育長	それは指導員。
事務局 (教育次長)	はい。指導員として。
教育長	遠征対応も含む指導員として。
事務局 (教育次長)	はい。そうです。
教育長	分かりました。
升水委員	<p>ひとついいですか。指導員の募集が、新年度までに間に合わない場合は、サポーターで少し対応しましょう、ということになっていると思うんですけども、サポーターの確保状況はどうですかね。</p> <p>何名ぐらいおられるとですかね。バドミントンとか陸上とか、それぞれ。陸上はいらないんですかね。2名いますからね。</p> <p>バドミントンとか、吹奏楽部は指導員は全然いらっしゃらないので、サポーターは、その、誰っていう訳じゃなくて、ちかはな楽団でサポートしますよ、ということですか。</p>
事務局 (教育次長)	はい。そのとおりになっています。
	非公表
教育長	ほかございますでしょうか。よろしいでしょうか。
教育委員	はい。
教育長	ありがとうございます。
報告第34号 学校評価結果の報告について	
教育長	続きまして、報告第34号、学校評価結果の報告に関しまして。何かございましたら、よろしくお願ひします。
升水委員	保護者の記述のところですね。○の5番目の○、通学路の危険個所のアンケートを取ったけど、返答がないのは…。とあるんですけど、これなんか通学路の危険個所を保護者の方にアンケートを取ったという話ですよ。

<p>教 育 長</p>	<p>説明します。それは私からも指導済みで、準備はできているところですけども、このとおりです。アンケートを取ってですね、それらを参考に、通学路安全対策協議会の中で現地調査をしますけれども、その結果で、じゃあ各所管課で、建設課では道路に関してこういう対応をしますとか、ここは私有地なんで、所有者の方に相談しますなど、そういった方向性を出してるんですけども、その方向性が帰ってきていないということです。</p> <p>結果、どういうふうに対応するっていうのが、まだ帰ってきていないというのはどういうことなんですか、どのようなニュアンスのご意見だと思います。</p> <p>というふうに受け止めたので、担当に指示をして、早急に各課に対応状況の確認を、その取りまとめは進んでいたんですけど、早急にお返しするよということ、何回か修正はしたんですけど、今朝、最終的に決裁をしてですね、近日中にお返しできると思いますけど、担当としてはですね、対応が完了してから返答をしようと思っていたということだったんですよ。</p> <p>いや、でも、意見を出した方は、どういう方向で対処しようと思っているのか、無理ですということなのか、すぐできますってことなのか、来年度になりますってことなのか、それを知りたいんだから、対応が未了であっても、方針ができてるんだから、すぐに返すようにしなさいということで、今後そういうふうにさせていただきます。すみません。</p>
<p>升水委員</p>	<p>分かりました。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>ほか、ございますでしょうか。</p>
<p>中村委員</p>	<p>はい。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>お願いします。</p>
<p>中村委員</p>	<p>直接的には、ここの話とは、ずれてくるかもしれないんですけど、今すぐ対応してほしいとか、答えを出さないといけないとかではないと前置きするんですけど、子ども達の記述で、イノシシをよく見るというのが複数見られんですよ。で、まあ街灯の話とかも前に出てましたけども、これは、学校とか教育委員会とかで対応する内容じゃなくなっているんじゃないのかなと。</p> <p>本当に、通学路でイノシシを子ども達が危ないと思ってきているのなら、もっと地域とか保護者とか、部活動の親の団体であるとかが協力して、送迎とかも含めて、何かしら見回りとか、対応しないといけないんじゃないのかなと。</p> <p>で、よそでもちょっとイノシシの通学路のを調べてみたんですけど、複数で帰りなさいとか、ライトを持たせましょう、ぐらいしかないですよ。</p> <p>結局、自分達で守れっていうことではないので、まあちょっとアンケートを見ると、本当に子ども達が、なんか心配になって。</p> <p>授業どころよりも、通学路のイノシシっていうのが出ているので、もう少し全体的に大きく対応しないといけないのかなって、これを見て感じましたね。</p> <p>全方向いるので、教育委員会だけでは無理なのかなと思いました。</p> <p>いや、じゃあ、これをどうということじゃないです。</p>

<p>教 育 長</p>	<p>去年の一般質問でも議員さんから出ていまして、産業振興課と調整して私の方が答弁させていただきましたけど、まあ元担当課長でもありましたので、イノシシに関しては、3対策というのがあると言われていてですね、住处減らし、捕獲、緩衝地帯を作るっていう、対策としてはそれに落ち着いているんですね。</p> <p>ですので、学校にも事務局を通じて話をしたんですけど、結構松葉を通学路脇の藪にですね、小値賀弁で言えbaumったててるんですね。</p> <p>それを止めさせなさいという話をしました。そこをほじってるんですよ、イノシシが。それで、先生方は慌てて教育委員会に連絡してきているので、それ自体をなくしなさいという話をさせてもらいました。</p> <p>で、姫の松原で見かけるっていうのもですね、どうしても、住处として隠れ家として、身を隠す場所として、そういったところがあれば、先ほど言ったように、松葉とか溜めていけば下が湿って、その下にミミズとかエサになるものが住み着きやすくなって餌場になってしまうんですね。</p> <p>ですので、その対策を地道にやるしかないというのが、イノシシの被害防止対策担当サイドの考えになるんですけど、今中村委員さんが言ったように、そうなってくると、姫の松原の松葉かきをもっと促進させましょうとか、住处になるところ、緩衝地帯を取るために、なるだけ雑木等も伐採していきましようとか、そういった活動になってくるんだらうなと思います。</p> <p>捕獲は続けておりますので、なかなか難しいですけど、質問でもあったように、街灯の設置も有効な方法だとは思いますが。</p> <p>明るいところは当然嫌いますので、できるだけ、通学路安全対策の中でも意見も出ました。両論ですね、子ども自体に気を付けることを身に付けさせないと、ライトを持ったり鈴を持ったり、そういったことも、危険を全部取り除く、街灯を増やしたり、そういった対応だけじゃなくて、子ども自身にも、そういったことを教えるのも大人の役割なんじゃないか、みたいな意見がありました。</p> <p>なかなか難しいですね。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>何か、この件に関してほかにありますでしょうか。</p>
<p>横 山 委 員</p>	<p>以前に比べて、藪を村事業で減らしたりとか、そういうものは、他の地区は分からないんですけど、私がいる所は、かなり丁寧に行っているなっていうのはありますけど、藪をなくすことっていうのは、そもそもちょっと無理な話なのかなって。近頃ではそのように対応しているけれども、藪そのものをなくすのは難しいのかなって思いました。</p>
<p>升 水 委 員</p>	<p>通学路付近の、姫の松原とかの周囲とか、番岳の下とか、藪の近くとかっていう所を道路の両端になるべくフェンスを増やすとか。そがんことしかなかっちゃなかとですかね。町の中あたりはなかなか出てこんやろし、せいけん、道路の近くに、学校の近くに藪のあるところは、そういうところを調査してですね、フェンスとか、そういう対策とか考えてみたらどうでしょうかね。難しかね。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>なかなか抜本的な対策っていうのは難しいですので、せっかくご意見いただきましたので、産業振興課、担当課と情報共有して、どういうふうに力を入れていけばいいか、考えていきたいと思えます。ありがとうございます。</p>

	<p>ほかにございますでしょうか。</p>
横山委員	<p>保護者のアンケートの記述のところ、メニューを見れば分かると思いますが、前日の朝頃に「明日は弁当の日です」という一言、安心メールを。</p> <p>こういうのがあるのかな、あるんだろうなっていう、ちょっとやっぱりなと思ったし、自己中心的なのかなと、皆さんそがん思つとるとやろかと、そういうふうに思いました。それに対する回答もあったですけども、メニュー表があるっちゃけんか、それば見れば済むこっちゃろうって。</p>
中村委員	<p>安全、安心のためにメールを使いたってことですのでね。</p>
浦委員	<p>給食のことまでっていうのはね。</p>
教育長	<p>これは、念押ししてもらえれば、ということですよ。中村委員さんからありましたように、安心メールがですね、どういう趣旨で活用されているのかにもですね。</p>
中村委員	<p>こういのは、保護者の中で LINE をして、自分達で対応すればいいことですよ。忘れることはありますね。明日弁当の日やったねって、焦ることはありますね。</p>
教育長	<p>すみません、報告事項で上げていてあれなんですけど、実は昨日ですね、今年度最後の学校運営協議会を開いたんですけど、その中で、この小・中学校の学校評価に対する報告も各校長先生からして頂いて、委員さんからもいくつか意見が出ております。その報告は、2月の定例教育委員会の際に報告するようになりますので、その時に委員さん方の意見も含めてですね、また改めてご意見いただく機会もあるかと思えます。ほかにございませんでしょうか。大丈夫でしょうか。小学校だけの話になっているようですけど、大丈夫ですかね。</p>
浦委員	<p>次年度以降、学校評価のあり方や方法を検討していきたい、ということが一言書かれていますよね、これは今までの評価の仕方に何か。</p>
事務局 (教育次長)	<p>小学校ですか。</p>
浦委員	<p>小学校です。一番最後に。ということは、今の評価の仕方では不都合というか、もうちょっとなんかした方がいいって、見えてきたんでしょかね。一番最後に。何か思うことがあったんでしょかね。</p>
教育長	<p>これはですね。小学校の校長先生が、児童のアンケート結果とか保護者のアンケート結果の点数ですね、点数を踏まえて、例えば児童のアンケート結果だと、学校の勉強は楽しく良く分かるというのが、前年度2.99ポイントで、今年度は3.06ポイントで、上がってはいるんですけども、学校の認識としては、ほぼ変わっていないとか、8番の学校の話の家の人と良くするっていうのは、前年</p>

	<p>度よりも下がっています。そういったこともあって、子ども達と授業を作っている教員との意識のギャップ、本当に学校が楽しければ、学校の話の家でするんじゃないかなというのが、校長先生の見立てとというか感想です。</p> <p>そういったことに関して、伸ばしたいけど思うように伸ばせないところもあるので、そういう意味で最後に書かれていると思います。</p>
升水委員	<p>子どもの数が少なくなってきた中で、子どもの個性が色々ここに出てくる可能性がある。そういう場合に、取り方をを変えても、あんまり意味のなかかもしれないですね。学校の話の家ではしないって子どもは、その学級に2人おったら下がるよね。そげん子多かけんね。</p>
教育長	<p>母数が少なかけんですね。</p>
升水委員	<p>100人もいくらもおるとやったら、ある程度出るけどね。</p>
浦委員	<p>でもこの評価から見ると、上がったたり下がったりはしていますけども、その基準として80%、3.2以上であればAと。</p> <p>全部達成なんですよ、横に書いてあるの。</p> <p>だから、私的には、もうそれでいいんじゃないのと思います。少しの上がり下がり、そりゃあると思います。ほとんど、保護者も生徒も児童も教職員も、ほとんど達成率Aですもんね。特別大きな問題もないし。どうなのかなと思いますけど。</p>
教育長	<p>私たちがそうですが、高い評価を得るというのは、なかなか難しいですよ。お叱りはよく受けますけど。</p>
升水委員	<p>学校でね、楽しいことがあっても、家に帰ってその話をせん子はせんちゃけん。楽しさの度合いによって話すかどうかじゃなかつちゃけん。</p>
浦委員	<p>そうですね。</p>
教育長	<p>特に学年が上がればですね、段々せんごとなるとでしようしね。</p>
横山委員	<p>それが正常な発達じゃなかかな。また基準が違うっちゃろか。</p>
升水委員	<p>女の子と男の子でまた違うし。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。ほかございませんでしょうか。大丈夫でしょうか。</p>
教育委員	<p>はい。</p>
教育長	<p>はい。ありがとうございます。先ほども言いましたけど、昨日の学校運営協議会の報告を次回いたしますので、またその時にでもですね、追加で何かありましたら、ご発言いただけたらと思います。ありがとうございました。</p>

2) その他

教 育 長 続きます、その他の報告になります。今回は6項目ですけれども、この中で、何かありましたら、よろしくをお願いします。

大丈夫でしょうか。いいでしょうか。タブレットやけん、なかなか見にくかたでしょうか。よろしいですかね。

教 育 委 員 はい。

教 育 長 はい、ありがとうございます。

横 山 委 員 すみません、こども園の卒園式が分かっていたら、教えていただきたいですけども。なかもんね。小中高までは分かるけど。

教 育 長 行事予定は、小中高までしか付けていないですよ。ただ、こども園の年間行事予定はもらいましたよね。それを見れば分かると思います。

中 村 委 員 3月19日ですね。

教 育 長 ありがとうございます。

横 山 委 員 ありがとうございます。

教 育 長 ほかにございますでしょうか。

升 水 委 員 成人式の時に、現役高校生が3名しか参加しとらんやったということだったんで、今から増やそうという話だったんですけど、新成人だと、現役高校生との話の内容というか、どんな感覚をしちよっちゃろうか。

新成人さんが主体で、こう、話し出すとでしようけど。

教 育 長 ワークショップ形式だったんで、高校生が3人しかいませんでしたので、3年生が1人、2年生が2人だったんで、3グループに分けて実施したので、高校生は各テーブルに1人ずつだったんですけど、既に働いている人もいますし、まだ学生の方もいますけど。生活のこととか金銭管理のこととか。人によっては、高校生3年生は就職する子だったんですけど、大学行った方がよかよとか、今更みたいな、そういう状況でした。やっぱり、自分を認知してもらうために、新成人が努力したこととかですね、趣味が同じ人をどうやて見つけるかとか、そういった、結構具体的なアドバイスをしていました。

升 水 委 員 例えば、前もってこう、こういう話をしてくださいとかいう話はしとつとですか。

教 育 長 しませんでした。今回初めてで、先ほど言ったように、高校生も一応、全学年

	<p>声掛けはしたんですけど、結果的に3年生1名と2年生2名となって、特に3年生の場合、進路が決まっている中であっているのです、そこは、もうちょっとプッシュしないといけないかなと思ったんですけど、言われるように、確かアンケートの中に、新成人の自由意見の中に、今、升水委員さんが言われたようなことを書いていたのが、確かあったと思います。</p> <p>前もって、こういうことを聞きたい、そういうのがあったら、もっとスムーズに行ったかもしれないみたいなのはありました。</p>
升水委員	<p>主に、例えば高校生1、2年生を対象にしたりして、3年生は来れば参加してもらっていいんだけど、1、2年生を集める施策ばせればよかよね。</p>
教育長	<p>そう思いました。</p>
升水委員	<p>こういう生徒数の少ない所は、色んな人の話を聞く方がよかって言われよけん。</p>
教育長	<p>学年によっても違うんでしょうけど、前から友達関係が固定化されていて、自分を変えようと思っても、なかなか変えることができないとかですね、コミュニケーションの能力が課題だったり、しょっちゅう同じことが、小中高一貫教育研究集録にも書かれていますけど、今回の新成人を見る限り、あんまりそんなに心配しなくていいのかなって思いました。意外と。</p>
横山委員	<p>私的意見ですけども、私らの頃は人が多くて、中学に入った時点で、仲の良い、この人と友達になりたいっていう人と、よく帰り道も帰っていたら、今までいた幼馴染が、色んなことを言ってきて、石を投げられたりとか、それこそ仲間外れにされたりとかした経験があるんですね。</p> <p>だから、そういう多い少ないというのは、保護者にとってはすごく危惧するところがあるのかもしれないけれども、関係ないのかなって。ある意味、自分の意志で生きていくのであれば、そういうことは関係ないのかなって思ったりするところです。親にとっては、すごく心配なところなのかなって思うんですけど。小値賀を出た時に、コミュニケーション能力の対応とか。どうなんでしょうかね。</p>
中村委員	<p>保護者のアンケートにありましたよね。少なくとも大丈夫かなって。</p> <p>でも、横山委員が言われたように、いっぱいいても、みんなと付き合う訳じゃなくて、仲良い子としか基本的には付き合わないですよ。</p> <p>親は心配にはなるんでしょうけど、実際今いる子どもに、少ないのはしょうがないので、その中で、逆に縦のつながりがあると思うんですよ。</p> <p>僕らの時は、上や下とか全然話しませんでした。同級生だけ。</p> <p>小学生と話したら、自分がいじめられるかもしれないとかありましたので、広がっているといえば広がっているのかな。プラスに捉えて。</p>
升水委員	<p>それとか大人とね、色々話せる機会が出てきて、そういうのはよかっち思うね。</p>

教 育 長	ほかにございますでしょうか。
浦 委 員	<p>ひとつだけ。教育長報告の中の国と県の動向の中に出てきた言葉なんですけども、化学物質過敏症の生徒に対する教科書。</p> <p>これは、教科書のことで書かれておりますけども、13番。これ教科書のことよね。太陽光の天日干しとかコピーとか、消臭紙で教科書にカバーをかけるとか色々書いてますけど、化学物質過敏症というのが、現代的な症状として出てきている人がいるらしいんですね。例えば、この前話をされたのが、洗濯洗剤なんかも、ものすごく香りが良いものが出てきているじゃないですか。</p> <p>で、そういうものに敏感な子ども、それを嗅ぐことによって、頭痛がしたりする子どもも増えてきているらしいんですね。</p> <p>だから、小値賀の場合、給食着ってというのは、回し回しだと思っんですよ。</p> <p>今週はあなた当番、次はあなた当番で、それで自分のうちで洗濯をしていると思っんです。そういうのは聞きませんか。あそこで洗ったら匂いがきつくて、嫌だとか、そういうのが増えてきているそうなんです。</p> <p>だから、自分の物ではなくて、クラスで着回しているのも、各家庭によって使う洗剤も違うので、ものすごく、私達も、ええ、ていう時がある。</p> <p>例えば女性なんか、化粧、いやなんかこう、ちょっとっていう空気もありますもんね。だから、それによっては、体に症状が出てくる人がいるみたいですけど。小値賀の場合、そういうのは聞きませんか。</p>
教 育 長	事務局どうですか、学校側とか、あるいは給食のスタッフの定例ミーティングの中でとか、何か話がありますか。
事 務 局 (教育次長)	今までそういった話が出ていないですね。こちらとしてまだ把握はしていません。問い合わせもしたことがなかったので、今度、聞いてみたいと思います。
浦 委 員	ちょっと聞いてみた方がいいかも知れんねと思っつて。
教 育 長	それはお願いします。私はよく分からないですけど、柔軟剤とか匂いが。
浦 委 員	柔軟剤も洗剤も今はいい香りがします。香り付けをしたりしてね。
中 村 委 員	<p>こう叩いたら香りがというか、マイクロプラスチックみたいなので、香りを取り込むみたいなのが。だから洗い流されずに付いているだけじゃなくて、わざと付けてるんですね。それをフレッシュな状態とかで出てるんですね。</p> <p>言ったら、いわゆる新品の状態ですね。香りとかが結構強いのがありますね。</p>
横 山 委 員	柔軟剤がそうじゃんね。柔軟剤が、やっぱり過敏症の人はね。
浦 委 員	1回聞いてみてでもいいかもね。
中 村 委 員	今までそういうものがなかったからですね。

非公表

教 育 長

ほか大丈夫ですか。

教 育 委 員

はい。

教 育 長

はい。ありがとうございます。その他の報告は以上ですけども、(5) その他ですけども、事務局から何かあるんでしたよね。

事 務 局

(教育総務係長)

まず、先ほどの化学物質過敏症の件について、学校給食の近藤栄養教諭の方に確認したところ、まだそのような話は、一度も子ども達からも先生達からも聞いたことはありませんということです。

浦 委 員

はい。ありがとうございます。

教 育 長

ありがとうございました。

事 務 局

(教育総務係長)

すいません、追加でもひとつお願いします。

昨年度、中村委員の方から話があったいました、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの現状についてと、小値賀の不登校対策の現状について、教育委員会の方で共有をしてほしいということで、大変遅くなってしまい申し訳ございませんでした。取りまとめたものを本日お配りしていますので、簡単に説明させていただきます。まず、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの現状についてですが、スクールカウンセラーは、戸村先生という、新上五島の方から月に1度来ていただいている先生がいます。

スクールカウンセラーとは、ここにも書いてありますけど、児童生徒の心理に関して、悩みのある児童生徒に対して、カウンセリング、日本語で言ったら助言、援助をしてもらう方なんですけど、そういった方が1名配置をされております。

で、スクールカウンセラーについては、小中学校と大島分校だけで、高校の方には行っておりません。月に1度だけですので、相談件数が多い時には、授業時間を越えてから夕方遅くまでの対応も時折、発生しております。

スクールソーシャルワーカーにつきましては、佐世保市在住の石橋先生が月に一度、たまに月に2回来られることが年に2、3回あります。

石橋先生は、先ほどのスクールカウンセラーは、心の対応ですけど、スクールソーシャルワーカーは、どちらかという家庭相談とか福祉の方の分野になってきます。スクールソーシャルワーカーについては、小中、高校の方までも足を運んでもらって、最近、高校に限らず、小値賀町民全体の方の対応もしてもらっているところです。今年度から、小さな気づき勉強会というのを開催しておりますけど、これも年に2回、石橋先生に講師になっていただいてから、親が子どものために、早いうちから小さな変化に気づける勉強会ということで、相談とは別にこのような勉強会も実施してもらっています。

続けて、裏の不登校対策の現状についても説明させていただきます。

まず、1番の図書館活用につきましては、これは、令和2年からガイドライン

が策定されております。図書館の方に、なかなか学校に行けない児童、生徒が出向いてから、学習をする意思がある場合は、指導要録上の出席扱いとして取り扱いはしてございまして、これまで1名の実績があるところです。

2番のおぢかっ子ミーティングにつきましては、子どもや家庭の問題が比較的軽微なケースですね、教育委員会に上がってくる時には、もう長欠児童で、30日以上欠席の児童生徒の事しか上がってこなかったというのがあったので、もっとその前から対応できることがないかということで、奇数月を小学校、偶数月を中学校で、学校、教育委員会、福祉事務所、あと学校相談員で、情報共有の場をもって、そこで得られた情報を基に、そこで終わりじゃなくて、家庭相談に行ったりとか、先ほどのスクールソーシャルワーカーにつなげたりとか、要対協案件かなとか、その辺の情報をつないでいく作業をこのミーティングでは行っております。3番の、まだ正式名称が決まってないので、尼忠寺子屋と書いておりますけど、これも山本さんとふるさと留学の坂井さんの2名で、なかなか学校に行けない生徒に対して勉強を見てもらっています。

今のところ、火曜日と木曜日の週2回ですね。今2名ですが、時々人数も増えたりしているようです。4番の民生委員訪問につきましては、昨年、佐々の民生委員さんが、小値賀の視察に来て、そこで意見交換をした時に、佐々の民生委員は、結構がつつり、不登校問題とかにも関わってから、家の様子なども見に行ったりしてますよ、とかいう意見をそこでお聞きできて、そこから、もっと民生委員達も動いていこうということになってから、今年からですね、各地区に分担してから、これまで以上にですね、困り感がある、児童生徒の所に気がけてから行ってもらおうようにしているところです。

5番の子育て講演会につきましては、社会教育の方ですけど、不登校や登校しぶりの問題に取り組むため、子育て世代を対象とした講演会を年2回実施しております。今年6月は既に終わりましたが、浦川末子先生にお越しいたいで講演会を実施しております。2回目が2月24日ですね。吉永里枝先生をお招きして実施予定です。ご都合のつく方は、よろしくお願ひします。

最後、6番の小さな気づき勉強会については、先ほど、お伝えしましたスクールソーシャルワーカーの石橋先生が講師になって、年2回勉強会を実施してもらっているところです。1回目が4月28日に実施して、21名参加していただいております。2回目は3月8日に実施予定です。

今回のテーマは、スマホ依存などについて、未就学児、こども園の保護者まで範囲を広げてから実施をする予定にしています。

以上です。何かありましたら、よろしくお願ひします。

教 育 長

はい。ありがとうございます。ただ今の説明に関して、何かございますでしょうか。

横 山 委 員

子育て講演会は、2回目の2月24日というのは、チラシとか回ってくるんですかね。

事 務 局

はい。

(教育総務係長)

横山委員	はい。分かりました。
教育長	今回は、確か午前開催の予定ですね。
事務局 (教育次長)	はい。土曜日の午前中です。
教育長	時間帯も色々試してみるようにします。ほかございませんか。
浦委員	3番の尼忠寺子屋について、週2回火曜と木曜ということですけど、時間的なものは、午前中とか午後とか1日とか。どんな感じになっているんですかね。
教育長	それは確か、教育委員会のスケジュールにも、事務局担当者が入れてくれていると思っていますけど、時間帯については、だいたい午後から。
事務局 (教育次長)	13時30分から15時30分までを大体予定しているようです。
教育長	ひとつご注意いただきたいのは、まあだいぶ慣れたかなとは思いますが、山本先生と坂井さんが私のところに来て、ご相談いただいたんですけど、私も気になるので、本当は見に行きたいんですけど、まあしばらく経っているので、まだ、聞き直しはしてませんが、しばらくしてから聞いた時に、来るのはちょっと遠慮して下さい的な話はあっていますので、もし見に行かれないというのであれば、前もって教育委員会事務局に連絡していただいて、山本先生につないでからってという形をお願いしたいと思います。
中村委員	<p>ありがとうございます。神崎さんをお願いしたのは、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーが、小値賀町の不登校対策とかで、一番の専門的な分野になるんですけども、保護者の人があまりこれを知らないというのが現状なのかなって。多分、聞いたら、ああ、と思ったように、分からないのと、なんかここに行くことって、ものすごくなんか、言葉は悪いけど、子どもがだめな方向に行ってしまったんじゃないとか、相談することすら、なんかこう、最初の頃に避けてしまうというのがあるんじゃないかなと思って。</p> <p>もっとみんなに、大げさなことじゃなくて、小さなことからこれは相談できるんですよってというような感じを周知できるといいなって。</p> <p>うちの娘が問題を抱えた時に相談して、だいぶちょっとこう、学校の先生と家族とかの間に立ってつないでくれたりとか、こういう問題があるんですけどっていうようなことをお互いに共有できたりとか。まあ小さいことなんですけどね。</p> <p>学校側でもなく教育委員会側でもなく、スクールカウンセラーという中立な立場でものすごく話を聞いてもらえますので、入学説明会なんかで、最初に新1年生の親と話す会とか、なんかこう、ハードルは高くないんだよとかいうことができると、親が最初に問題があるなと思った時に、相談ができるのかなと思ったので、皆さんと情報を共有したいなと思いました。</p> <p>学校の予定表見ても「SC、SSW 来校」しか書いてないので、ほとんど親も分</p>

	<p>かってないんですね。で、こうやって相談したら、学校の担任の先生から、この日に来ますっていう連絡があって、じゃあ予約しますみたいな感じで予約するシステムなので、もっと簡単にできる方法とかあるといいのになとか思ったりしたので、何かいい案がありましたら。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。学校と話をしてもらって、伝わりやすい方法を考えてもらいたいと思います。</p>
事 務 局 (教育総務係長)	<p>はい。明日早速、おどかっ子ミーティングの小学校があるので、そこで共有したいと思います。</p>
教 育 長	<p>よろしくをお願いします。ほかございませんでしょうか。ないですかね。</p>
教 育 委 員	<p>はい。</p>
教 育 長	<p>はい。ありがとうございました。</p>
<p>2月行事予定</p>	
教 育 長	<p>続きますして2月の行事予定ですが、これにつきましては、目を通して頂ければと思います。</p>
事 務 局 (教育次長)	<p>すいません、1件事務局から。先ほど横山委員さんから質問があった子ども園の卒園式、3月の日程ですが、掘めていますので。 3月19日(火)が、こども園の卒園式ですね。</p>
横 山 委 員	<p>はい。ありがとうございます。</p>
事 務 局 (教育次長)	<p>因みに、中学校は3月13日、翌日3月14日が、小学校の卒業式の今のところ予定になっております。</p>
教 育 長	<p>学校は早めに案内をしてくれるので。</p>
浦 委 員	<p>今年は早くないですか。</p>
教 育 長	<p>早いです。少し早いです。ほか大丈夫ですかね。</p>
教 育 委 員	<p>はい。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。これで全案件を終了しました。 長時間ありがとうございました。</p>
	<p>非公表</p>

15時30分閉会

教育長 _____

教育委員 _____
